

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 7 - (1)

政策体系	施策名	地域の元気の創造	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	119
	政策名	活力みなぎる地域づくりの推進	関係部局名	企画振興部、生活環境部		

【 . 主な取り組み】

取組				
取組項目	元気で活気あふれる地域づくりの推進	特徴ある地域づくりの展開	地域づくりを支える人材の育成	空き家の利活用の推進
取組				
取組項目	地域に活力を生み出す 経済基盤の安定と仕事づくり			

【 . 目標指標】

指 標	関連する 取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
地域活力づくり取り組み件数(累計)		H26	645	950	970	102.1%	1,155	1,670						

【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	県内各地域で地域資源を生かした地域の活力づくりに取り組んだ結果、目標値を達成した。	達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	・地域資源を活用した産品開発、ツーリズムの推進、九州北部豪雨や台風第18号災害後の風評被害対策としての観光キャンペーンの実施等、地域において様々な取組を実施し、地域の元気の創造が図られた。
	・芸術文化の創造性を活かし、地域の魅力を高めたり、新しい価値を付加しようとする地域の取組を支援するとともに、地域で活動するアートマネジメント人材を育成した。 ・姫島・豊後大野両ジオパークの再認定審査への対応を支援し、再認定となった。また、両ジオパークの活動が持続可能となるよう、看板設置やガイド養成等に対する助成を行い、受入れ態勢の充実を図った。 ・ユネスコエコパークへの登録決定を受け、登録決定記念シンポジウムを開催することで、登録決定の周知並びに自然環境の保護・保全及び地域活性化に向けた機運が醸成された。
	・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいたツーリズム大学の修了生が270名となった。(H29年度新規修了生24名)
	・市町村と連携して、東京や大阪の移住フェアにおいて空き家の改修補助のPRを行ったことで活用する移住者が増えた。
	・ - 7 - (2)を参照。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	地域活力づくり総合補助金	509,016	A	継続・見直し	23
	創造県おおいた推進事業	74,272	A	継続・見直し	28
	おおいたジオパーク推進事業	39,168	A	継続・見直し	98
	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	35,070	A	継続・見直し	99
	観光地域磨き推進事業	79,432	A	継続・見直し	17
	移住者居住支援事業	75,077	A	継続・見直し	13

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>第7回県政ふれあいトーク(H29.12) ・国民文化祭、ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピックなど来たるビッグイベントに向けて、行政にはぜひ民間の方々の方々の活動についての支援をお願いしたい。</p>	<p>第9回県政ふれあいトーク(H30.2) ・人を呼ぶことも大事だが、訪れた人達がどういう評価をするかという視点も大事だと思う。今は個人が情報発信できる時代なので、人が人を呼ぶ観光地でなくてはならない。そのためには観光資源に磨きをかけることも重要。</p>
--	---

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・世界温泉地サミットやラグビーワールドカップ2019等海外から注目が集まる機会を捉えて、H30年度は国際的にブランド力のある地域を対象とした取組に対して補助率を高めするなど、地域活力づくり総合補助金を活用して交流人口の増加を目的とし、地方創生に資する取組を支援する。</p> <p>・地域とアートをつなぐアートマネジメント人材の発掘・育成を行うとともに、ネットワークの構築を推進する。</p> <p>・おおいたツーリズム大学等により観光・地域づくりを担う人材の育成を引き続き行う。</p> <p>・住居改修等の支援に加え、移住者が生計を維持するために行う店舗等の開設補助をスタートアップセンター等と協働して移住フェアにおいてPRし、更なる空き家の活用を促す。</p>